

学校運営協議会だより

横浜市立大口台小学校 学校運営協議会 6月11日(金)第2回協議会より

今年度は4月より運営されている学校運営協議会。4月23日の第1回協議会では横浜市教育委員会より委員委嘱が行われました。その後、感染症対策を講じながら6月11日に第2回の協議会が行われました。

令和3年度の学校経営に関わる、各種プランについて、説明がありました。

※資料(一部)は学校ホームページに掲載しています

- 学力向上アクションプランについて
- 大口台小学校「いじめ防止基本方針」について
- 本年度の特色的な教育活動について
- 大口台小学校「体育・健康プラン」について
- 豊かな心の育成プランについて
- 学校地域協働活動事業について

◆ 協議(意見交換)

令和3年度の教育活動の相談やご意見をいただきました。

【オリンピックの児童参観の引率について】

※ 横浜スタジアムでのソフトボール予選リーグの観戦が当たり、今年度の夏季休業中に予定されている。市全体で児童の参観の中止に関する措置は取られていない。各学校ごとに実施かどうか半断されている状況。

- 今の感染状況では、オリンピックの観戦は難しい。学校判断でよいのではないか。
- 子どもたちに経験させてあげたいが、心配な親も多いと思う。どうなるかわからない状況で時期を考えると、辞退の判断は妥当だと思う。

◆ 学校運営協議会としても、辞退する方向で進めてほしい。

【学習ボランティア・給食調理員アルバイトについて】

※ 学習ボランティア・と給食調理員の会計年度任用職員(アルバイト)が不足している。

- コロナ禍で難しいかもしれないが、神奈川大学の学生には知らせたいと思う。
- 子どもの側で様子を見たい親もいるから希望があると思う。協力したくても、しかたがわからないのではないか。学校から声かけしたらどうか。地域の掲示板を利用する方法もある。

【本年度の水泳学習の中止について】

※ 本校の場合、1学級が最大35名となり、プールサイドでの間隔は2mを確保することが難しい。児童支援専任と、音楽専科、家庭科専科で補助を分担すると期間中に本来業務に携われなくなる。中止にした。

- 慎重に判断している。仕方ない。

【各委員からひとこと】

- 「砂時計ノート」がとてもよい。児童の様子、変容の記録が継続的に蓄積されているのがよい。名前もよい。何かかが起きた時にも、過去に戻って記録を読み返すことができる。ぜひ続けてほしい。
- コロナ渦の中で、学校生活の中で子どもたちがどれ程息抜きできているか、ストレスを溜めていないか気になっている。
- 盲特別支援学校でも水泳学習は中止している。換気が不十分、水中の濃度等も改善されないと難しい。
- コロナによって子どもたちがどれ程のストレスを感じているかが心配である。そのような子どもに対して、大人がどのように関わり、ケアができていないか、親もまたストレスを感じていないか、そのケアも必要である。必要な対策は十分にやっておく必要がある。
- 個に応じた学びを充実させていくことは、今の子どもたちのニーズに合っている。タブレット端末等の導入も始まっているが、まだ不足しているものがあれば、学校運営協議会の中で取り上げて、申請書を委員会に提出することもできる。
- いじめの実態に対してどのような対応をしているか、親がいじめについてどう捉えているか、保護者と一緒に考え、理解が必要。子どもたちを見守り、育てていくことがなければ、無用のトラブルを引き起こしかねない。
- 自己肯定感が低い児童がいると把握している以上、それを改善するために学校が行っている取組も発信していく必要がある。
- 体育・健康プランのなかで、目標の中に手段は多く掲げられているが、運動することを楽しむ、味わうことがとても重要。豊かなスポーツライフを充実させる視点を大切にしたい。
- 洗濯板体験を行っているが、当時の様子を伝えられる人が減っている。昔のことを語る、伝えられる人が途絶えないようにしたい。